



各国での支援活動

エリトリアのパラアスリートに
競技用車いすを寄贈しました

世界こども財団では、エリトリア初のパラリンピック出場を目指す男子車いすマラソンのシブハトゥ・ケセテ選手を支援しています。シブハトゥ選手にとっての大きな課題が、新しい競技用車いすの入手でした。当財団ではシブハトゥ選手に競技用車いす一式を寄贈することを決定、3月のロサンゼルスマ



新しい競技用車いすでレースに臨むシブハトゥ選手

な課題が、新しい競技用車いすの入手でした。当財団ではシブハトゥ選手に競技用車いす一式を寄贈することを決定、3月のロサンゼルスマ

ラソン出場に合わせてアメリカでオーダーを行い、無事に大会前に新しい車いすを届けることができました。大会では入賞できなかったものの、シブハトゥ選手は次の大会、そして来年のパラリンピック出場へ向けて闘志を燃やしています。今後もエリトリアのパラアスリートの活躍を支援していきます。(FGC 石井洋祐)

エリトリア

シブハトゥ・ケセテ選手（男子車いすマラソン）

1985年生まれ。エリトリアの兵士として国防の任務に就く中で負傷しました。同国のパラアスリートの草分けとして首都アスマラを拠点に活動、不利な環境にありながら多くの国際大会で経験を積み、2019年のストックホルムマラソン（スウェーデン）では初の国際大会優勝を果たしました。エリトリア初のパラリンピック出場が大いに期待される選手です。

今年で7年目を迎えたブータン国際マラソン

ブータン

ブータン王国では、国民のスポーツ振興、またスポーツを通じた国際交流を目的として毎年ブータン国際マラソンを開催しています。第7回となる今年は2020年3月7日に開催され、新型コロナウイルスの影響もあり約170名の直前キャンセルがあったものの、海外選手68名を含む総数352名がフルマラソンとハーフマラソンに参加しました。本大会はブータンオリンピック委員会（BOC）が主催し、BOCは人々の健康、ウェルネス、そして幸福を支援する手段としてスポーツを提唱

しています。世界こども財団と星槎グループはBOCの大会趣旨に賛同し、第3回・第4回大会では、星槎道都大学陸上競技部選手を派遣しました。昨年の第6回には日本モルテン製デジタルタイマーを寄贈しました。引き続きブータン王国のスポーツの発展と普及、国際交流の支援を継続していきます。尚、この大会で得られた利益は、ブータン王国のジュニアオリンピック及びユース育成とスポーツ支援に還元されています。(FGC 石田博彰)



2020年に開催された第7回ブータン国際マラソンのスタートゲート



神秘的なコースを駆け抜けるランナー



今できることを全力で! ～星槎国際湘南～

春を迎え新生活がスタートするはずでしたが、新型コロナウイルスの影響により学校は5月上旬まで休校が続きました。生徒の健康と安全を第一に考え、星槎国際湘南の留学生たちも新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、マスクを着用しソーシャルディスタンスを取りつつ日々生活してきました。このような状況でもできる事を模索し勉強面では課題を中心に日本語、英語、数学、科学などの教科をしっかりと学びました。自己学習の中で、いつもよりも時間をかけて考えたり、何度も読み直したりすることで、理解を深めることができたようです。授業が再開されてからも、この習慣は継続していきます。

各競技の練習に関しては、それぞれ可能な範囲で自主的に取り組み、学校再開に向けての準備をしてきました。そして日常生活では、健康管理に気をつけ、規則正しい寮生活を送ることを心がけ、日課である部屋・廊下の掃除も欠かしません。外出や人とのコミュニケーションが制限される中でも、仲間を大切にする気持ち、支えてくれている多くの方々への感謝の気持ちを持ちながら生活しています。どんなに困難な状況にあっても笑顔を忘れない、留学生たちはそれぞれの思いを胸に、日々成長しているようです。(FGC 小野木愛)



Zoomを通して先生に質問!



寮の清掃活動に励む留学生たち



アーチェリー室内練習の様子



キャンパス内を駆け抜けるダイヤモンド君




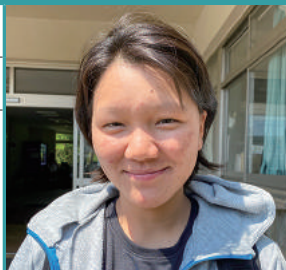
留学生紹介 ～高校生～

新学期を迎え、留学生たちは気持ちを新たに生活を送っています。活動が制限されたこの環境の中でも、日々学業・競技の練習に一生懸命取り組んでいます。そんな彼らを紹介します。(FGC 宮川翔太)

次号の FGC ニュースでは星槎大学と星槎道都大学の留学生を紹介いたします。

星槎国際高等学校 湘南学習センター

新3年生

	氏名	ニドゥ・ドルジ		氏名	ソナム・チョデン
	所属	アーチェリー専攻		所属	アーチェリー専攻
	今年度目標	スコアを伸ばすためにも一射一射を早く打てるようにする。		今年度目標	70m で 320 点を目標にしている。メンタルと体力も強化したい。

新2年生

	氏名	ダイモン・ベルハネ・テスファイ		氏名	メルハウィ・ゼレセラシエ・カラティ
	所属	陸上専攻		所属	陸上専攻
	今年度目標	日本語能力試験で N4 に合格する。 1500m を 3 分台、3000m を 8 分台で走り切る。		今年度目標	日本語能力試験で N5 に合格する。 5000m を 15 分台で走れるようにする。
	氏名	ナトナエル・トゥウエルデブルハン・テスファガブル		氏名	カウン・カン・ウー
	所属	陸上専攻		所属	トップアスリート専攻 空手
	今年度目標	日本語だけでなく、他の教科も力を入れて勉強する。 1500m を 3 分 50 秒を切れるように頑張る。		今年度目標	組手で神奈川県トップ8に入る。 日本語能力試験 N4 に合格する。
	氏名	テット・ヤミン・ウー		氏名	スー・ミャットミャット・ナイン
	所属	トップアスリート専攻 空手		所属	トップアスリート専攻 空手
	今年度目標	県の大会で少しでも上位にいけるよう、技術を磨くだけでなく心を強くする。		今年度目標	組手・形の両方で神奈川県の上位に入る。勉強と競技の両立を図る。

新1年生

今年度はエリトリアとミャンマーから新たに 8 名の高校留学生を受け入れる予定ですが、新型コロナウイルスの影響によりまだそれが実現できていません。この非常事態の早期収束を願い、彼らの来日を心から楽しみにしています。



「機運醸成動画」が完成!

2021年に開催されることになりました「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて、星槎グループは、神奈川県・小田原市・箱根町・大磯町と、事前キャンプの受入れ国である「エリトリア・ミャンマー・ブータン」との交流を通じて「SKYプロジェクト」を進めています。SKYプロジェクトには、3つの思いが込められており、1つ目が地域におけるスポーツの振興、2つ目が教育文化の向上、3つ目が友好関係の構築となっています。

この度、SKYプロジェクトでは、県が主体となり3カ国の応援動画を作成し、公開することになりました。星槎に通う3カ国の留学生を中心に、星槎国際湘南の生徒、神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町の皆様と応

援動画に出演しています。是非、YouTubeやインターネットで「神奈川県オリパラ応援動画」と検索し、ご覧ください。
(FGC 宮川翔太)



寄付型自動販売機設置のお願い

現在当財団では、飲料メーカー各社と連携し「寄付型自動販売機」の設置を展開しています。この活動はドリンク1本自動販売機で購入することで、売り上げの一部が当財団への寄付につながるというものです。この寄付型自動販売機が普及することで、より多くの世界の子ども達の活躍の場や笑顔を届けることができます。

設置に伴う費用は一切かかりません。また、自動販売機の管理・運営等も全て飲料メーカーが実施するのでオーナー様への負担もございません。我々の活動にご賛同いただき、設置場所を提供しても良いという方、あるいはお知り合いの方で自動販売機の設置を検討されている方等いらっしゃいましたら、是非とも当財団事務局までご連絡を頂戴したく存じます。

※場所によっては設置ができない場合がございます。設置の可否につきましては飲料メーカーが下見をしてからの判断となりますので、予めご了承くださいますようお願いいたします。



お菓子・アイスも設置できます



各メーカー設置可能です!

世界こども財団 サポーター紹介!

今年度新たにご賛同いただきました FGC サポーターの皆さま (5/1 現在)

【法人会員】※順不同

- 株式会社清美堂 ●有限会社熊沢商店 ●レモンホーム株式会社 ●湘南事務機サービス株式会社
- コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

【個人会員】

新たに30名以上の方を「仲間」に迎え、計350名を超える方々にご賛同いただいております。

多くの方々のご協力により我々の活動は支えられています。

世界の子どもたちの為、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2020年5月発行

公益財団法人
世界こども財団

〒259-0111 神奈川県中郡大磯町国府本郷 1805-2 (星槎グループ内)
TEL. 0463-74-5359 FAX. 0463-74-5374 E-mail: fgc@fgc.or.jp
ホームページ: <http://www.fgc.or.jp> Facebook: 「世界こども財団」で検索!
印刷: フルサワ印刷株式会社 制作: 岡村直実 (JC ユニット)

